

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者社会参加援助					所管	福祉部 障害福祉課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	65	計画事業名	障害者の文化活動支援			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						
	[施策] ①文化に触れる機会の充実		[事業開始] 平成27年度					
	[終了予定] - 年度							
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区松が谷福祉会館条例				
	事業対象	18歳以上65歳未満で維持期の訓練の必要な中途身体障害者・障害者や家族及び障害者の支援を行うボランティア団体等						
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・医療終了後(維持期)の身体障害者に対し、日常生活の自立・社会参加を目的として理学・作業・言語療法等の専門的な訓練・指導・助言を行うことにより機能の維持・改善を図る。 ・障害者の社会参加プログラムを充実させるため、ボランティアの育成を行う。 						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター事業として脳卒中等中途障害者の機能回復訓練の実施。それぞれの機能に合わせ専門療法士により週1~2回訓練、社会参加や社会資源の活用を目的とした外出訓練の実施。 ・社会参加プログラムの実施(講習会・パソコン教室・外出訓練・自主サークルの設置及び運営支援等) ・事業に関連するボランティアの育成(新規育成及び既存ボランティアのレベルアップ講座等の実施) 							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	機能回復訓練在籍者数	人	16	15	16	17	
		社会参加プログラム実施回数	回	368	187	382	355	
	成果指標	機能回復訓練 延利用者数	人	1,953	1,853	1,983	2,075	
		社会参加プログラム参加延べ人数	人	2,026	1,696	2,175	1,877	
	決算額 (単位:千円)				15,681	16,475	18,127	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			24,571	26,996	32,062	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			484	531	1,130	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	976	
		総経費			25,055	27,527	34,168	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,689	8,937	8,696		
	一般財源(区負担額)			16,366	18,590	25,472		
前回評価から改善した事項	社会参加援助事業について、講師や内容の見直しを図り、より充実させた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	若年層の脳卒中等の後遺症などによる中途障害者はひきこもる傾向にあり、こうした方に対する社会参加を目的とした機能訓練は他になく、利用者が豊かな生活を継続できるよう事業を継続する必要がある。					
	効率性	3	理学・作業・言語療法など専門性が不可欠な事業のため、経費のほとんどが専門療法士の人件費である。ボランティアを育成、活用することでコストを抑制しつつ、より充実した内容のサービスを安定して継続提供できている。					
	手段の適切性	3	急性期・回復期のリハビリを終え、維持期のリハビリが必要な方に日常生活の自立や社会参加を目的とした訓練を実施している。また、ボランティアを活用したリハビリサークルの運営支援など、障害者の孤立防止・自主的且つ継続的なリハビリに向けた取り組みも行っている。					
	目的達成度	4	本人の残存機能や目標を見極め、専門療法士が立案した個別訓練メニューに沿ってリハビリが行われ機能維持改善に繋がっている。ボランティアの活用により質の良い社会参加訓練の安定した実施に繋がっている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
脳卒中等の後遺症などによる中途障害者に対し、単なる機能回復ではなく地域生活に密着したリハビリの場を提供することは重要であり、引き続きボランティア等を活用しながら事業を実施していく。					維持			